

働き方改革をコロナ禍以前から推進 人と組織の生産性向上に貢献するアプリケーション

同社は、顧客企業の人材情報を活かして人と組織を活性化させる各種アプリケーションを提供。業界後発ながら、先行する欧米大手にはない「運用管理のし易さ」「操作性」「コストパフォーマンスの高さ」等が支持され、大手企業をはじめ400社以上の導入実績を誇る。人口減少問題に直面する我が国にとって、人々や組織の生産性改善は急務であり、これを実現するITサービス普及を図る同社は、我が国経済全体の生産性向上に一石を投じる存在である。

所在地 東京都港区芝2-1-33
電話／FAX 03-6435-3953／03-6435-3437
URL <https://www.cydas.com/>
代表者 代表取締役社長 松田 晋

設立 2011年
資本金 5,986万円
従業員数 92人



商品力強化、営業体制の強化、人材育成の同時推進による需要獲得

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、組織活性化に関わる企業ニーズは変化しつつも着実に高まっている。働き方が変わることによって、企業と働く人々の関係も変わってくる。これに応えるための新規アプリケーションの開発、顧客との密な関係を活かした営業アプローチやマーケティング手法の進化(広告、代理店、インターネット)、厚みのある営業人材の育成、受注までの業務プロセスの改善などを図り、需要獲得に取り組んでいる。



新製品「CYDAS PEOPLE」

女性、若手人材の抜擢登用と能力向上(研修、スキルアップ、チャレンジ)の取組

同社は、事業拡大に合わせて毎年6~12人を新卒採用するなど、若年層の雇用拡大に継続的に取り組んでいる。2017年入社組はマネージャー1名、リーダー1名として活躍中。入社1年目から米国のカンファレンス参加や、顧客への出向経験を積ませて育成。20代前半から責任ある業務を任せ、入社3年目からチームリーダー、大手企業(地方銀行や航空会社)担当のセールス責任者、大手企業の人事部門に対するコンサルティング導入の責任者などに抜擢されるメンバーが育ちつつある。



若手人材が活躍している

コロナ禍以前から働き方改革を推進、ブランディング強化で優秀な人材を確保

優秀な人材を確保するためにブランディング強化に取り組んでいる。会社発の発信に加え、従業員が積極的にTwitter等で発信を行うなど、会社と従業員が一体となってブランディング活動を行っている。同社は自由なワークスタイルが特徴である。新型コロナウイルス流行前からテレワークを推奨し、出社率は10%前後、フレックス制度も導入されている。遠隔地での採用も行っており、現在は5名が東京、沖縄以外で勤務している。海外人材の採用にも積極的で、現在は5ヶ国から採用している。



オフィス風景（東京本社）